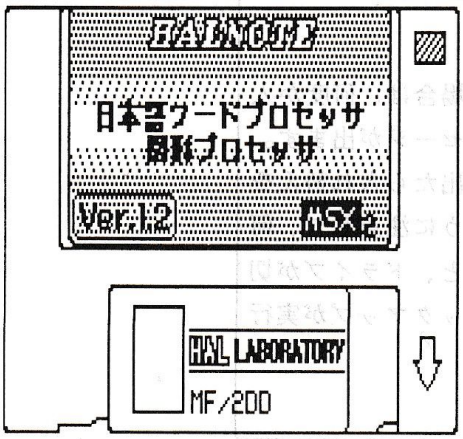
HALNOTE 重要!! アプリケーションソフト

代筆プロセッサ「直子の代筆」マニュアルの追加・変更点

1. パッケージ内のディスクの種類

「直子の代筆」の出荷に際しパッケージ内のディスクを、変更させていただきました。

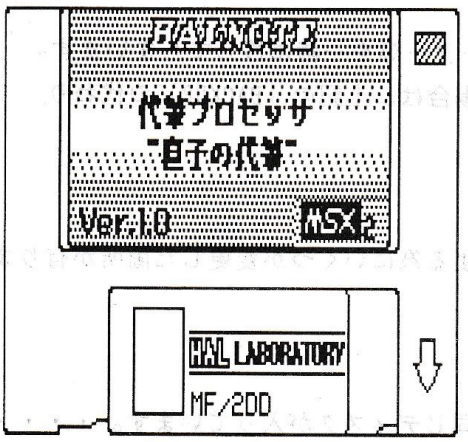


● ＨＡＬＮＯＴＥシステムディスク
バージョン １．２

８８年春にバージョンアップされた物で、最新版のシステムディスクです。

このディスクは、バックアップ専用のディスクとしてお使いください。
（別紙マニュアル申込方法参照）

×1



● 「直子の代筆」インストールディスク
バージョン １．０

このままでは「直子の代筆」は、使えません。

同紙の変更点をご確認の上、実行用のディスクを作成してください。
（”直子の代筆”マニュアル Ｐ１１）

×1

2. ＨＡＬＮＯＴＥシステムディスクのバックアップの方法（確認）

上記のＨＡＬＮＯＴＥシステムディスクはライトプロテクトを、はずさない事を前提の元に使用していただく為、ＨＡＬＮＯＴＥを起動すると、エラーが発生します。（エラーが発生すると抜けられませんので要注意！！）

下記の手順でバックアップを行ない、ユーザーが準備したシステムディスクで、実行してください。

手順Ａ：電源を切ったＭＳＸ２本体からＨＡＬＮＯＴＥカートリッジを外し、梱包のシステムディスクをＡドライブに差しＭＳＸ２本体の電源を入れる。

手順Ｂ：ＭＳＸ－ＤＯＳのメッセージが出て、プロンプト［A>］が出ることを確認する。

（この時［ROM NOT FOUND］と云うメッセージが出ますが、問題有りません。）

```
MSX-DOS version 1.03
Copyright 1984 by Microsoft

COMMAND version 1.11
```

```
A>hn
ROM not found!
A>
A>
```

実行例 1

手順Ｃ：上記のアンダーラインの部分にキーボードから［BACKUP］と入力しリターンキーを押す。

```
A>BACKUP (リターン)
A>kanjif
A>copy a:*.* b:
  MSX-DOS.SYS
  COMMAND.COM
  HN.COM
  ........
  ..........
  ........
A>kanjif
A>
```

※１ドライブの場合は、何度か入れ替えのメッセージが出ます。メッセージが出たら入れ替えを間違えないように注意して、何かキーを押すと、ドライブが切り替わり、バックアップが実行されます。

実行例 2

※ このバックアップの方法は、サンプルデーター等を一緒に移してしまいます。もし、ＨＡＬＮＯＴＥの機能だけで良い場合は、上記の［BACKUP］の代わりに［BACKUP2］と入力してください。

3. マニュアルの変更点（テキストレジ）

マニュアルの作成後、更に使いやすくする為にいくつか変更した箇所が有ります。ご注意及びご了承ください。

● １１ページ ５行目から３行の説明

旧）「直子の代筆」製品パッケージには２枚の同じディスクが入っています。・・・・・・・・・・念のためディスクにはライトプロテクトをかけておきましょう。

新）「直子の代筆」製品パッケージには１枚のインストールディスクとＨＡＬＮＯＴＥＶｅｒ１．２のバックアップ用システムディスクが入っています。「直子の代筆」のシールが貼って有るインストールディスクを使って作業用ディスクを作ります。この時、念のためライトプロテクトタブが付いている場合は、ライトプロテクトをかけておきましょう。（穴が開いている状態）

● ２２ページ １２行目中頃

「元年」を１９２５に．．．．は、１９２６です。

● ２８，３１，７１，７２ページ 表示・印字例の変更

［ 氏名 ・会社名・ 所属 ・ 役職 ・ 電話 ・ＦＡＸ・住所１・住所２・ 日付 ］の順番で出力されていますが、パッケージのシステムでは

［ 日付 ・会社名・ 所属 ・ 役職 ・ 氏名 ・住所１・住所２・ 電話 ・ＦＡＸ］の順番で出力されることになりました。また、この順番の変更指定は出来ません。

８８年７月７日